

## カービュー マーケットウォッチ (2011年10月)

自動車総合サイト「carview.co.jp」を運営する株式会社カービュー(本社:東京都中央区、代表取締役:松本 基)は、社団法人 日本自動車販売協会連合会が公表する「月間登録台数ランキング」をもとに、日本国内における自動車マーケットの動きを独自分析する。

### 3/5ナンバー乗用車合計が13カ月ぶりに前年を上回る

| 11年<br>9月順位 | 11年<br>8月順位 | 動向 | モデル名    | メーカー名 | 台数     |
|-------------|-------------|----|---------|-------|--------|
| 1           | (1)         | →  | プリウス    | トヨタ   | 33,197 |
| 2           | (2)         | →  | フィット    | ホンダ   | 27,980 |
| 3           | (3)         | →  | ヴィッツ    | トヨタ   | 10,860 |
| 4           | (4)         | →  | セレナ     | 日産    | 10,371 |
| 5           | (5)         | →  | カローラ    | トヨタ   | 8,835  |
| 6           | (6)         | →  | デミオ     | マツダ   | 7,542  |
| 7           | (8)         | ↑  | パッソ     | トヨタ   | 6,853  |
| 8           | (12)        | ↑  | フリード    | ホンダ   | 6,497  |
| 9           | (10)        | ↑  | マーチ     | 日産    | 6,008  |
| 10          | (13)        | ↑  | ノート     | 日産    | 5,875  |
| 11          | (9)         | ↓  | ヴォクシー   | トヨタ   | 5,598  |
| 12          | (7)         | ↓  | ラクティス   | トヨタ   | 5,434  |
| 13          | (16)        | ↑  | ジューク    | 日産    | 4,827  |
| 14          | (11)        | ↓  | ノア      | トヨタ   | 4,754  |
| 15          | (14)        | ↓  | ウィッシュ   | トヨタ   | 4,545  |
| 16          | (18)        | ↑  | キューブ    | 日産    | 4,381  |
| 17          | (15)        | ↓  | シエンタ    | トヨタ   | 4,219  |
| 18          | (25)        | ↑  | ステップワゴン | ホンダ   | 3,931  |
| 19          | (20)        | ↑  | ティーダ    | 日産    | 3,580  |
| 20          | (17)        | ↓  | ソリオ     | スズキ   | 3,454  |

※ 社団法人 日本自動車販売協会連合会調べ  
 ※ 輸入車および軽自動車を除く

## カービュー編集部独自の分析

### ■3/5ナンバー乗用車合計が13カ月ぶりに前年を上回る！ 軽乗用車を含めても前年同月比2.1%減まで回復

今回は、日本自動車販売協会連合会（自販連）、全国軽自動車協会連合会（全軽自協）、日本自動車輸入組合（JAIA）が発表した9月の販売データからマーケット概況をチェックしていこう。まず輸入車、軽自動車を含め、国内で販売された乗用車総数は39万2050台で、前年同月比は97.9%（貨物車、バスを含む総新車販売台数は46万2192台／前年同月比97.9%）と13カ月連続のマイナスだが、下落幅は2.1%と12カ月ぶりにひとケタ台まで回復してきた。特に5ナンバーの小型乗用車が14万2052台で、前年同月比103.1%と前年を上回り、13万8327台（前年同月比98.4%）だった3ナンバー普通乗用車との合計（軽乗用車を除く乗用車計）が13カ月ぶりにプラスとなった。昨年9月は新車購入補助金制度が終了したことで、14カ月ぶりに前年を下回り、その後は反動減と大震災の影響で前年割れ状態が続いてきたが、ようやく底を打ち、長いトンネルの先に明るい光が見えたといえそうだ。

輸入車と軽乗用車を除く3/5ナンバーの国産乗用車（日産マーチ輸入分含む）は25万3814台で、前年同月比は99.1%。メーカーブランド合計では、すでに前年同期比でもプラスになっているレクサス、スズキに加え、ホンダとマツダが前年同月比101.6%、110.2%と前年超えとなり、トヨタも99.4%とほぼ前年並みの売れ行きになってきた。

月間ランキングでは「トヨタ プリウス（ $\alpha$ 含む）」が3万3197台で4カ月連続トップ。 $\alpha$ が1万733台と依然として好調で、シリーズ全体で前年同月比21.8%のプラス。2位は2万7980台の「ホンダ フィット（シャトル含む）」で、ハイブリッド車1万4546台、ガソリン車1万3434台と、やはりハイブリッド車の好調な売れ行きが続いている。またスカイアクティブ技術の採用でベスト10入りを果たした「マツダ デミオ」も7542台で6位をキープするとともに、前年同月比23.6%増と勢いを取り戻した。このほか、4位「日産 セレナ」が46.0%増、「トヨタ ラクティス」も12位ながら245.5%増と伸張し、ベスト30圏内で13モデルが前年を上回った（1年以内にデビューしたモデル除く）。

軽自動車は乗用車部門が11万1671台で、前年同月比91.2%（貨物車を含めた全体は14万8402台／前年同月比90.9%）と12カ月連続のマイナスだが、9月に発売されたダイハツミライースは7000台の月間販売目標を上回る8870台と好スタートを切っている。

輸入乗用車は海外メーカー製のみでは2万6031台、前年同月比119.8%と2カ月連続のプラス（日本メーカー製含む輸入乗用車全体では3万2573台、前年同月比113.2%）。海外メーカーブランド別乗用車ランキングはVW（フォルクスワーゲン）が6443台で9カ月連続トップで、前年同月比も141.4%とプラスに転じた。2位は4688台のメルセデス・ベンツだが、前年同月比は99.7%。3位は4165台のBMW（ミニを除く）で、4位アウディ2783台、5位ミニ1758台、6位ボルボ1581台まで前年を上回る好調な売れ行きとなっている。

## ■ココも気になる！その1

### 「第3のエコカー」投入で、ダイハツが軽市場を牽引

11年度上期（4～9月）で、「トヨタ プリウス」が11万3211台で3期連続のトップとなり、乗用車全体に占めるハイブリッド車(HV)販売比率は2.3ポイント増の18.4%に上昇した。電気自動車(EV)も「日産 リーフ」が今年1～9月累計で7256台、「三菱 i-MiEV」が1361台と確実に販売台数を伸ばしている。HVやEVに代表される低燃費車は、「エコカー」としてクルマ選びの一つの 카테고リーに成長したいえるだろう。そんなエコカー市場に電気の力を使わずに挑んでいるのがマツダとダイハツだ。

マツダはスカイアクティブ、ダイハツは e:S（イース）という新技術体系を標榜し、ガソリンエンジンや AT（CVT）の高効率化はもちろん、ボディの軽量化や空力性能の向上など、従来技術のトータルブラッシュアップで HV に並ぶ低燃費を実現した。6月のマイナーチェンジでスカイアクティブ技術の一部を初搭載した「マツダ デミオ」は7月1万464台／前年同月比33.5%増、8月は5868台／同34.4%減と低調だったが、9月は7542台／同23.6%増と売れ行きを伸ばした。そして9月20日に発売された「ダイハツ ミライース」は JC08 モード 30.0km/L の低燃費に加え、79.5万円からというリーズナブルプライスまで実現。先行予約分があったとはいえ、販売日数が11日と少なかったにもかかわらず、月間販売目標7000台を上回る8870台を売り上げた。

ミライースは受注ベースでも発売後約2週間で約2万5000台と絶好調で、早くも10月からの増産が決定されたほどだ。これまで「ミラ」クラスの軽乗用車は女性ユーザーが7割強だったが、ミライースでは男性比率が50%超となり、幅広い年齢層から支持されているのが特徴。もはや燃費は男女を問わず、クルマ選びの最重要項目なのだ。とはいえ、軽市場は12カ月連続で前年割れと厳しい状況。低燃費&低価格を切り札としたダイハツのがんばりはもちろんだが、ライバルメーカーの対応策にも注目したいところだ。

## ■ココも気になる！その2

### 9月末時点の輸入乗用車ランキングをチェック！

輸入車の販売データを集計している日本自動車輸入組合（JAIA）は通常、メーカーブランド別のデータしか公表しないが、3カ月ごとに車名別の速報データを20位まで発表する。そこで今回は海外メーカー製乗用車の今年1～9月累計によるベスト10をチェックすることにしよう。

1位は「VW ゴルフ」で2万426台（前年同期比93.3%／前年同期順位1位）、以下、2位「ミニ」1万576台（同121.4%／同3位）、3位「VW ポロ」1万452台（同92.2%／同2位）、4位「メルセデス・ベンツ Cクラス」8809台（同122.8%／同6位）、5位「BMW 3シリーズ」6947台（同81.6%／同5位）、6位「BMW 5シリーズ」6897台（同172.5%／

同 8 位)、7 位「メルセデス・ベンツ E クラス」6145 台 (同 71.5%/同 4 位)、8 位「BMW X1 シリーズ」3991 台 (同 166.9%/同 13 位)、9 位「アウディ A4 シリーズ」3990 台 (同 89.3%/同 7 位)、10 位「ボルボ 60 シリーズ」3785 台 (今年発売モデル) となった。

1 位のゴルフは昨年まで 8 年連続年間トップを続けているだけに当然として、2 位以下の順位変動に注目だ。前年同期より 1 ランクアップのミニは今年 1 月発売の「ミニクロスオーバー」が貢献。ミニ初となる 4 ドアを採用し、FF に加え、4WD をラインナップしたことが人気の要因だ。3 位に後退したポロは供給不足の影響が大。昨年秋から在庫不足が続いていたが、ここへきて改善されただけに今年終盤の追い込みが見ものだ。また順位を上げた「メルセデス・ベンツ C クラス」と「BMW 5 シリーズ」はニューモデル投入の成果で、逆に「メルセデス E クラス」が順位を落としたのは昨年ニューモデルが好調だった反動だろう。

このほか注目なのが「BMW X1」。昨年の 4 月にデビューした X1 は FR が 363 万円、4WD でも 480 万円という戦略的な価格とオンロード志向のスタイリングで好調な売れ行き。3368 台で 11 位につけている「アウディ A1」とともに、今後要注目だ。

上記プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社カービュー 広報・法務室 ([pr@carview.co.jp](mailto:pr@carview.co.jp))

tel : 03-5859-6158 fax : 03-5859-6180

---